

平成29年度第1学期始業式講話

「出会いを育てる」

おはようございます。みなさん進級おめでとうございます。2年生だったみなさんは3年生となり、最上級生として中学校生活の最後の一年間を迎えました。1年生だったみなさんは2年生、中堅学年となりこの後の入学式からは先輩と呼ばれるようになります。

3月24日の終業式からたった2週間ですが、学校は年度が変わり、今日から平成29年度、新たな1年間がスタートします。3学期の終業式で学校に来る意味について話をしました。おぼえていますか。学校に来るのは「変わる」ため、いい意味で変化していくためだと話しました。この一年間みなさんの前には、新たにたくさんの素晴らしいことが待っています。学校生活において様々な経験や勉強を通して1年後にはきっとみなさんは大きく変わっていると思います。もっともっと成長できるようにもっともっと一中がよい学校になるように頑張っていきましょう。

さて始業式に当たり、私の最初のお話のテーマは「出会いを育てる」です。人は一生のうちでたくさんの人との出会いをします。その出会いがその人の人生に大きな影響を与えることもよくあります。

先ほど歓声と悲鳴の中、新しい学級が発表になりました。自分の思い通りに

なった人、大好きな友達と離れ離れになって不安になっている人、いろいろな思いが入り混じっているでしょう。今日は1年間にたった1回しかない「出会いの日」です。みなさんは新しく1年間を共に過ごすクラスメートと出会いました。新しい担任の先生や学年の先生と出会いました。そしてこの後の入学式で、新しい1年生と出会います。

でも出会っただけでは、信頼関係や絆は生まれません。今日の出会いを「ただの出会い」にするかそれとも「いい出会い」にするか・・・

「いい出会いにする」には自分で苦労して出会いを育てていくことが必要です。「出会いを育てる」なんて変に聞こえるかもしれませんが。出会いを育てる方法はたった一つ、それぞれの出会いを大切にしてお会いした相手を尊重することです。相手を尊重するというのは相手に期待する前に、自分で何が出来るかを考えることです。例えば相手がほほえんでくれないと不愉快になるのではなく自分から微笑みかけること、相手があいさつをしてくれないと嘆くのではなく自分から「おはよう」とあいさつをすること、後輩が気遣いしない、生意気だと怒る前に自分でやって見せること一緒にやろうと声をかけること・・・

相手に「私はあなたを大切に思っています」という気持ちが伝われば、今日の出会いはただの出会いから「いい出会い」に育つのだと思います。

今日の出会いを大切に・・・

終わります。

平成29年度 第71回入学式 式辞

「中学校ってどんなところだろう」

春爛漫、生命の息吹みなぎる希望の季節を迎え、朝霞市立朝霞第一中学校
平成29年度 第71回入学式が朝霞市長 富岡勝則様、朝霞市教育委員会委員
長職務代理者 平木 倫子様をはじめとするご来賓の皆様のご臨席と、多くの
保護者の皆様のご列席を賜り、挙行できますことに心より感謝申し上げます。

私は校長の二見隆久と申します。どうぞよろしく願いいたします。

さて、ただいま呼名をいたしました266名の新入生のみなさん、ご入学お
めでとうございます。みなさんは今日から朝霞第一中学校の生徒です。一日も
早く本校の生活に慣れて、三年間思う存分、自分の持てる力を発揮して楽しく
充実した学校生活を送ってほしいと思います。ここにいる2・3年生の先輩方、
私たち教職員一同、みなさんが入学されることを心から歓迎いたします。そし
て本校での三年間が素晴らしいものになるよう全力で応援していきます。

今、皆さんの胸には今日から始まる中学校生活に大きな期待と希望、同時に
少しの不安や心配があると思いますが、勉強や部活動など初めてのことを心配
するよりも、わからないことを恐れず積極的にチャレンジする気持ちを持って
前向きに頑張っていきましょう。

さてこれから私は節目、節目にみなさんにお話をする機会があります。私の話は私の授業だと思って聞いてください。今日は私とみなさんの最初の授業です。最初の授業のテーマは「中学校ってどういうところだろう」です。後ろにいる二・三年生も自分のことに当てはめてよく聞いて下さい。

さあ中学校ってどういうところでしょうか。まず、中学校は「大人になる準備をするところ」です。難しく言うと義務教育最後の3カ年です。みなさんは、4月から電車やバスの料金が「大人料金」になりました。だからといって、3月31日までは子ども、4月になったら急に大人・・・になるわけではありません。中学校の3年間で少しずつ大人に近づいていけばよいのです。みなさんは大人というと、どんなイメージを持っていますか。大人は自由でいいなど思っている人、中には大人はずるいと思っている人もいるかもしれません。確かに大人は自由ですが、その分、責任も負っています。中学校では皆さんを大人扱いしていきます。小学校までは先生が決めたり、指示していたことも生徒自身が考えて、決めていくようになります。ですから皆さんには、自由になることが増えます。そしてその分、責任も重くなります。「自分の行動に責任を持つこと」を忘れないでください。

ただし先ほど言ったように皆さんは最初から大人ではありません。

ですから二つ目として中学校は「たくさん失敗していいところ」です。中学校生活の中で苦しいことやつらいことがあっても皆さんの周りには友達や先輩や先生方そして皆さんを愛してくれる家族がいます。ですから安心して失敗してください。どうぞ悩んでください。失敗や悩みを乗り越えたときに人は大きく成長します。失敗や間違いを機会にそこから何か学びとるのであれば、その失敗や間違いは良き経験となり、そこに必ず成長があります。

三番目に中学校は「いろいろな人に出会えるところ」です。皆さんは10の小学校からこの朝霞一中に進学しました。ここには799人の一人ひとり違う人が一緒に暮らすことになります。金子みすずさんの詩の中に「みんなちがって、みんないい」という一節がありますが、みんな違うってことこれはとても大切です。皆が同じ顔で同じ性格だったらこれは相当気持ち悪い。中には自分と合わないなあと感じたり、苦手だなあと思う人もいるかもしれません。それはそれであたり前ですが、だからと言って相手を否定したり傷つけたりすることはあってはなりません。先ほど失敗や間違いはしてもいいと言いましたが、人や物を傷つける行為、いじめや暴力は絶対に許しません。みんな違った個性を持つ生徒一人一人、先生方がその個性を認め合って生活していくことが大切です。今日出会った仲間たちと励まし合って支え合っていきましょう。

そして最後に今日の出会いを3年間の楽しい日々につなげていくための魔法の言葉をみなさんに教えます。それは「自分がされてうれしいことを他の人にしてあげよう。自分がされて嫌な事は他の人にしないようにしよう」です。もう一度言いますね。「自分がされてうれしいことを他の人にしてあげよう。自分がされて嫌な事は他の人にしないようにしよう」 当たり前なこと過ぎて魔法の言葉と感じませんか。実はここにいるみんなが、今日の出会いを活かして楽しい学校生活を送るためにはとても大切な言葉です。

どうかみなさん、自分がされてうれしいことを是非周りの友達にして下さい。自分を慈しむように周りの友達に温かく思いやりを持って接して下さい。心ない行動や言葉で人を傷つけるのではなく「ありがとう」や「ごめんなさい」が自然に飛び交う集団になってください。

以上が今日の授業です。中学校はどんなところか・・・「大人になる準備をするところ」「失敗してもいいところ」「いろんな人に出会えるところ」そして楽しい中学校生活を送るための魔法の言葉「自分がされてうれしいことを他の人にしてあげよう。自分がされて嫌な事は他の人にしないようにしよう」というお話しをしました。心に刻んでくださいね。

保護者の皆様に申し上げます。本日はお子様のご入学、誠にありがとうございます。

います。お子さんの制服姿に、中学生になったという感慨とともに、今後の健やかな成長を願う気持ちを新たにされていることと思います。どうぞ今日の晴れ姿をこれからの新たな出発点として大切にさせていただき、お子さんのよさを認め、伸ばしていただきたいと思えます。

私は、教育は「未来づくり」であると考えています。子供たちには無限の未来があり、その未来をより良く生きるために昨日よりも今日、今日よりも明日とより良い変容を目指すことが教育です。子供たち一人ひとりが将来、咲かせるであろう花を想って土地を耕し、種を植えて、水をやる、芽を出せばそれがまっすぐに伸びるように支援する、私たち教師が行う教育や保護者のみなさんの子育ては、すぐに結果が出るものもありますが、その多くは未来へ向けて行う地道な作業の繰り返しです。

学校教育は生徒・保護者・地域の皆様の信頼という基盤の上に成り立っております。「生徒から信頼される教師、保護者から信頼される教育、地域から信頼される学校」を目指して私ども教職員一同、全力を尽くしてまいりますので、様々な面での本校へのお力添えをよろしくお願いいたします。

おわりに、本日ご出席いただきましたご来賓並びに保護者の皆様に改めて御礼申し上げますとともに、一層のご支援、御協力をお願い申しあげまして、式

辞といたします。

平成二十九年四月十日

朝霞市立朝霞第一中学校長 二見 隆久

2・3 年生保護者会 挨拶

みなさま、こんにちは。本日はご多用の中、ご来校いただきありがとうございます。年度当初の保護者会にあたり一言ご挨拶申し上げます。今年度も引き続き本校の校長を務めさせていただくことになりました。私自身は3年間校長として本校で勤務できましたので、てっきり3月で異動かなと覚悟していたのですが、「4年目も頑張れ」ということですので、相変わらず御最良のほどよろしく願いいたします。

さてまずは、お子様の進級おめでとうございます。4月10日の始業式・入学式から子供たちは学年が一つ上がりました。3年生は最上級生として中学校生活最後の1年間を迎えました。今年度は進路選択の大切な1年になります。義務教育最後の1年を充実させて3月の卒業式で胸を張って旅立てるように願っています。

2年生は後輩である1年生の入学とともに朝霞第一中学校の中堅学年として学校生活の中心となるべく1年間を過ごしていきます。ついこの間入学したと思ったら夏休みには部活動でも中心となり心身ともに一番大きく成長する年になります。

資料の最初をご覧ください。今年度も学校教育目標の中心理念として「自立・貢献・信頼」を掲げ、下に示した3つの具体目標により知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成を目指してまいります。また3つの理念を基に「目指す生徒像」を示させていただきました。昨年度70周年を迎え、新たな1歩を踏み出す今年度も目指す学校像を「誇りを胸に未来に向けて前進し続ける学校」として教育活動に邁進

してまいります。今年度も本校の教育に深いご理解と温かなご支援をお願い申し上げます。

さて、お手元に1編の詩を印刷したものをお配りしました。ご覧になってください。未完の完結という詩です。4月の学校だよりも書かせていただきましたが、4月の最初の職員会議で私は新たに迎えた方々を含む今年度のスタッフにキーワードとして「はじめに子どもありき」という話をしました。私たち教師は子供を相手に仕事をしております。子供がいなければ私たちの商売は成り立ちません。これはここにいらっしゃる保護者のみなさまも同じです。子供がいるからこそみなさんはお母さん、お父さん、私たちは学校の先生でいられるわけです。しかしながら教師も親もついつい「こうあるべき」「こうなってほしい」という意識になりがちです。教師は教える側、生徒は教わる側という固定観念にとらわれたり、親の価値観を無理に押し付け過ぎたりすると「〇〇がない」「〇〇が足りない」・・だから「〇〇できる」ようにしようと躍起になります。もちろんそれはそれで大切ですが、私たちは「ありのままの子どもの姿を見ること」を忘れてはいけません。初めから子どもを枠や型にはめようとするのではなく、一人一人の興味・関心、見方、考え方を捉えて柔らかな心で接することが大切であるということを全教職員で共通理解したかったので「はじめに子どもありき」という話をしたのです。

一人一人の子どもはそれぞれ違う個性を持っています。私たちはその詩にあるように柔らかな心でありのままの子どもを見ていきたいものです。

今年1年「はじめに子どもありき」の精神で教育活動を展開してまいりますのでどうぞよろしくお願い致します。